

トワーム小江戸病院の 充実した設備

合併症治療に対する医療機器
X線装置、マルチスライスCT、超音波診断装置、消化器内視鏡検査機器（経鼻内視鏡胃カメラ）カプセル内視鏡、PEG内視鏡、ERCP、生化学自動分析装置、人工呼吸器、トレッドミル、大腸ファイバー、気管支ファイバー、高気圧酸素治療装置、日本発のSAS（睡眠時無呼吸症候群検査装置）を完備。

医療法人社団 松弘会

日本医療機能評価機構認定・救急病院三愛病院とさいたまガンマナイフセンターを中心に、高齢化社会に向け、老人介護保健施設「トワーム熊谷」、「トワーム指扇」、介護付き有料老人ホーム「トワームみずほ台」を展開する。またグループの更なるステップアップの為、全米トップクラスの「アーカンソーハートホスピタル（アーカンソー州、ブルース・マーフィー病院長）」と提携。優秀な医師の採用支援やスタッフへの継続的研修等を実施している。



こちらにアクセスするとワークステーションの様子が見られます。



川越市下老袋 490-9
TEL.0492-22-8111(代表)
TEL.0492-22-8123(入院のご相談)
<http://www.towarm.com/>

先端機器を完備、 認知症患者の退院を実現



夏祭り打ち上げ花火(スターメイン)560発を中庭で打ち上げ

前には、東武バスウエストの停留所があり、路線バスでのアクセスもよい。

充実したスタッフ
スタッフは医師18名、看

護師60名、看護助手70名、リハビリ関係10名、臨床心理士3名他検査や事務を含めて総勢220名、特に退院を前提としている為、他の認知症病院では見られない理学療法士が3名配置されているのが注目される。

心のこもったイベント
また四季を通じさまざまなイベントが実施されるなど、ソフト面でのサービスも治療の一環として行われ

ている。夏には、昔ながらのお祭りやおみこし、中庭では打ち上げ花火560発が盛大に夜空にきらめく。冬には、キャンドルを灯した看護師らが、利用者の早期回復を願ってキャンドルサービスを行い、心温まるプレゼントを贈る。

開院からすでに700名を超える患者が退院、4年目に入ったトワーム小江戸病院は更なる挑戦を続ける予定だ。

医療法人社団
松弘会

認知症専門病院 トワーム小江戸病院



患者の尊厳を重視し、愛情込めた医療の提供を目指す「トワーム小江戸病院」

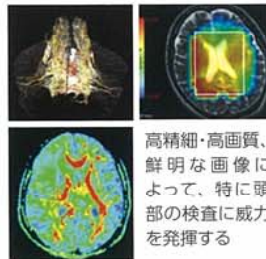
「すべての認知症が、不治の病ではない」。川越市下老袋の認知症専門病院「トワーム小江戸病院」は、開院から3年、着実に実績を積み重ねている。同院は、さいたま市桜区で三愛病院を運営する松弘会（済陽輝久理事長）が2008年に

通常、認知症患者は、グループホームなどの施設で介護の対象とするケースが多い。しかし、こうした介護施設では併発しやすい身体疾患への対応が不十分になる。一方、トワーム小江戸病院は、先端の医療機器を設置し、合併症の迅速かつ効果的な検査、治療を可

能とし、認知症をあくまで治療して、改善する。対象としてとらえる。

日本初の米国GE社製の最新型30テスラMRIやマルチスライスCT、さらにはSAS（睡眠時無呼吸症候群解析機・日本初）などを完備。東邦音楽大学との連携で行う音楽療法やドッグセラピー、園芸療法など多彩な治療法を用意している。

快適な入院生活を求めている。病院は、ホテル並みの心地よさを実現。ロビーは天井を吹き抜けに、開放感のある空間が広がる。また、シャンデリアや高級家具が備わった院内は、患者のストレスを軽減し、利用者に安らぎを与える。同院玄関



高精細・高画質、鮮明な画像によって、特に頭部の検査に威力を発揮する



トワーム小江戸病院に導入された米国GE社製の最新型30テスラMRI

開院から3年

「すべての認知症が、不治の病ではない」。川越市下老袋の認知症専門病院「トワーム小江戸病院」は、開院から3年、着実に実績を積み重ねている。同院は、さいたま市桜区で三愛病院を運営する松弘会（済陽輝久理事長）が2008年に

開院。先端機器を完備し、24時間365日診断から治療まで、認知症の医療に専念する環境が整備されている。

最先端の設備、環境

通常、認知症患者は、グループホームなどの施設で介護の対象とするケースが多い。しかし、こうした介護施設では併発しやすい身体疾患への対応が不十分になる。一方、トワーム小江戸病院は、先端の医療機器を設置し、合併症の迅速かつ効果的な検査、治療を可

「SaBi」夏-秋号(埼玉新聞社)2011. 8. 10発売
トワーム小江戸病院が掲載されました